

平成31年度

福井県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要

令和元年6月

福井県教育委員会

平成31年度福井県立高等学校入学者選抜学力検査の結果について

○推薦選抜、特色選抜、連携型中高一貫教育校入学者選抜、第1次学力検査および第2次学力検査の課程別の合格者数は、次のとおりである。()内は、前年度のものである。

	全 日 制	定 時 制	合 計
推薦選抜によるもの	544(644) ※()内は体芸推薦を除く。		544(644) ※()内は体芸推薦を除く。
特色選抜によるもの	226(235) ※()内は体芸推薦によるもの		226(235) ※()内は体芸推薦によるもの
連携型中高一貫教育校入学者選抜によるもの	88(90)		88(90)
第1次学力検査によるもの	3,868(3,977)	168(159)	4,036(4,136)*
第2次学力検査によるもの	18(18)	13(28)	31(46)
計	4,744(4,964)	181(187)	4,925(5,151)
募集定員	4,845(5,092)	350(480)	5,195(5,572)
充足率	97.9%(97.5%)	51.7%(39.0%)	94.8%(92.4%)

*第1次学力検査合格者4,036人の実用英語検定試験取得状況は、次のとおりである。()内は、前年度のものである。

合格者	3級	準2級	2級以上	3級以上の取得級なし
4,036(4,136)	1,450(1,759)	849(731)	52(82)	1,685(1,564)

○全日制の第1次学力検査合格者3,868人(前年度3,977人)に関する教科別の平均点は、次のとおりである。()内は、前年度のものである。

	選択問題A	選択問題B
英 語	40.4(40.9)	63.9(57.8)
数 学	50.4(53.0)	69.8(58.6)
	共通	
国 語	57.1(61.9)	
社 会	57.4(55.4)	
理 科	49.9(47.5)	
総 点	283.1(275.4)	

※英語および数学は大問4～6問のうち1～2問を次の2種類の選択問題として実施

A：基礎力を問う設問の割合が多い問題 (選択した合格者1,362人)

B：記述・論述型の設問の割合が多い問題 (選択した合格者2,506人)

※英語の平均点には実用英語検定試験取得による加点は含まれていない。

国語

1 H31年度入学者選抜(調査人数 453人)

大問	小問	配点	平均点	正答率	無答率	出題形式			観点	課題
						選択	短答	記述		
一	(一)	3	1.80	59.82%	0.00%	○			知識・理解	
	(二)	2	0.71	35.32%	0.00%	○			知識・理解	
	(三)	4	2.06	18.76%	1.77%			○	読む能力	
	(四)	4	2.46	59.16%	1.77%		○		読む能力	
	(五)	4	2.91	72.63%	0.00%	○			読む能力	
	(六)	4	2.92	73.07%	0.00%	○			読む能力	
	(七)	8	3.10	1.55%	4.64%			○	読む能力	課題②
二	(一)①	2	1.96	97.57%	0.44%		○		知識・理解	
	(一)②	2	1.99	99.34%	0.22%		○		知識・理解	
	(一)③	2	0.94	45.25%	3.53%		○		知識・理解	
	(一)④	2	1.94	96.47%	0.66%		○		知識・理解	
	(一)⑤	2	0.36	16.11%	9.93%		○		知識・理解	課題③
	(一)⑥	2	0.52	18.76%	28.48%		○		知識・理解	課題③
	(一)⑦	2	0.72	26.05%	27.37%		○		知識・理解	
	(一)⑧	2	1.62	79.25%	2.21%		○		知識・理解	
	(二)	2	1.50	74.17%	0.88%	○			知識・理解	
三	(一)	2	1.95	97.57%	0.00%	○			知識・理解	
	(二)	2	1.59	79.25%	0.00%	○			知識・理解	
	(三)	5	2.07	10.38%	8.17%			○	読む能力	課題②
	(四)	7	3.40	3.75%	10.38%			○	読む能力	課題②
	(五)	3	1.83	59.60%	1.55%	○			読む能力	
四	(一)	2	1.96	96.69%	0.44%		○		知識・理解	
	(二)	3	1.88	60.26%	1.99%		○		読む能力	
	(三)	5	2.97	25.83%	5.74%			○	読む能力	
	(四)	3	0.62	20.09%	0.22%	○			読む能力	
	(五)	6	0.95	0.00%	17.00%			○	読む能力	課題①
五	a	2	1.92	94.70%	0.66%			○	書く能力	
	b	4	2.92	44.81%	0.66%			○	書く能力	
	c	5	3.52	35.54%	0.66%			○	書く能力	
	d	2	1.22	39.96%	0.66%			○	書く能力	
	e	2	1.24	41.50%	0.66%			○	書く能力	
合計			55.59							

※20%未満に網掛け ※15%超過に網掛け

記述問題の総配点 50点

2 全体概要

<p>良好</p> <p>○呼応の副詞の働きを理解し、文章の中で正しく使い分けることができる。 大問三（一）</p> <p>○中学校までに学習した漢字について、概ね正しく読むことができる。 大問二（一）①②、④</p> <p>○歴史的仮名遣いの基礎を理解し、文章の中で正しく読むことができる。 大問四（一）</p>
<p>課題</p> <p>●中学校までに学習した和歌の表現技法を理解し、解釈の場面に生かしながら内容を読み取ることに課題がある。 大問四（五）</p> <p>●文章の中から解答に必要な言葉を抽出し、適切に再構成して記述することに課題がある。 大問一（七）、大問三（三）（四）</p> <p>●小学校までに学習した漢字について、文章の中で正しく使い分けることにやや課題がある。 大問二（一）⑤⑥</p>

3 問題の概要

大問一	<p>説明的な文章</p> <p>「齋藤 亜矢『上手い、おもしろい』」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アートを評価する「おもしろい」という言葉について、「上手」と比較しながら述べた評論 ・文脈に即して筆者の主張を読み取り、再構成して表現する力を求めている。
大問二	<p>漢字・書写</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校第3学年までに学習した漢字について読むこと、小学校第6学年までに学習した漢字について書くことを求めている。 ・書写の基本的事項（伝票の書き方）の理解を求めている。
大問三	<p>文学的な文章</p> <p>「葉室麟『天翔ける』」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幕末を舞台に、島津斉彬とのやりとりを通じて松平春嶽の心情が変化していくさまを描いた文章 ・本文の描写に即して登場人物の心情を丁寧に読み取る力を求めている。
大問四	<p>古文</p> <p>「作者不詳『和歌威徳物語』」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見事な和歌を詠んで後冷泉院から賞賛された少将の内侍について描いた、和歌を含む古文 ・和歌を含む文章の内容を読み取り、的確に表現する力を求めている。
大問五	<p>作文</p> <p>「これからの人生の中におけるスポーツとの関わり方について」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの人生の中におけるスポーツとの関わり方について、資料をもとに意見を書く作文 ・資料をもとに目的に応じて必要な情報を読み取り、自分の意見を論理的に展開し、適切に表現する力を求めている。

4 誤答分析と今後の指導のポイント

【課題①】中学校までに学習した和歌の表現技法を理解し、解釈の場面に生かしながら内容を読み取ることに課題がある。

大問四（五） 正答率 0.00% 無答率 17.00%

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

後冷泉院の御とき、ごれいぜいゐん 治めているとき 田園名 近江国より白きからすをたてまつりたりけるを、深く隠して、人にも見せさせたまはざりければ、あふみのくに
 女房達ゆかしがり申しければ、にようぼう をのをの歌よみてたてまつれ、よくよみたらん人に見せんと仰せ事ありければ、おほしごと 少将の内侍とい
そはに仕える女性達が見たところ ふ歌よみの女房とりあへず、歌人
 たぐひなくよにおもしろき鳥なれば、2 ゆかしからずとたれかおもはん
後冷泉院 賞賛なこと 君かぎりなくめでさせたまひて、すくに すなはちかの鳥を取り出して、人々に見せさせたまひ、内侍にはかづけ物たまはせける。
（「和歌威徳物語」の文章による）

大問四（五） 後冷泉院が賞賛し、ほうびを与えたのは、少将の内侍がどのようなことをしたからか。二重傍線の部分に用いられている掛詞の説明を含めて、解答欄の書き出しに続けて五十文字以内の現代語で説明せよ。ただし、書き出しの言葉は字数に含めない。

【解答例】 （少将の内侍が、）白いからすを見たいという心情を、「尾も白い」と「面白い」という掛詞を用いて、うまく歌によんだから。（49字）

〈誤答分析〉

- ・少将の内侍が後冷泉院から賞賛され、ほうびを与えられた理由は、珍しい白いからすを見たいという心情を、掛詞を用いてうまく歌に詠んで表現したからである。この設問では、「どのようなことをしたからか」という問いに対する理由が解答の中心となる。その上で、掛詞「おもしろき」の説明を含めよという設問の指示を手がかりとして、「おもしろき」には「尾も白い」と「面白い」という二通りの意味が重ねられていることを補足して説明する必要がある。
- ・誤答には、「尾も白い」と「面白い」という掛詞の二通りの意味を説明しただけで終わっているものや、掛詞の説明はせずに、「すばらしい歌をよんだから」とだけ答えているものが多く見られた。また、「白いからすをおもしろいとして」「白いからすとおもしろい鳥をかけて」など、文脈や掛詞の知識を踏まえた説明が十分にできていない誤答も多く見られた。
→和歌の表現技法に関する知識を生かし、珍しい白いからすを隠してしまった後冷泉院が、上手に歌をよんだ者にそのからすを見せようと命じる古文前半の内容と、少将の内侍が詠んだ和歌の内容とを結びつけて、内容を読み取ることができない。昨年度に引き続き、課題である。

[全国学調・SASA で指摘された課題]

- ・平成 29 年度全国学力・学習状況調査

B **1** 三 表現の仕方について捉え、自分の考えを書くこと。

〈今後の指導のポイント〉

- ・教科書に掲載されている和歌を用いて掛詞について学習した後、掛詞で表現されている 2 つの内容についてそれぞれ絵に表し、和歌の解説文を書く。(参考 SASA2016 報告書 p97-98)
- ・発展的な学習として、同音異義語を集め、掛詞を使った現代版言葉遊びとして、駄洒落集を作成する。
- ・学習した表現技法を用いた和歌や短歌を作り、ペアやグループで、用いられている表現技法を説明し合ったり、和歌や短歌の解説を発表したりする。

【課題②】文章から解答に必要な言葉を抽出し、適切に再構成して記述することに課題がある。

大問一（七） 正答率 1. 5 5 % 無答率 4. 6 4 %

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

「おもしろい」は、いかげんなようで、じつは万能で、深い言葉だ。

研究でも、一番のほめ言葉は「おもしろい」だ。新しい着眼点、新しい手法、意外な結果、新たな説を導く考察など、それまでの枠組みを大きく変えるような研究こそ、「おもしろい」。

（中略）

この時期には、絵を介した言葉のコミュニケーションも頻繁におこる。「これ、アンパンマン。」と子どもが説明しながら描いたり、まわりのおとなが、「なに描いたの？」と問いかけたり。

絵本・アニメの登場人物

そのとき、なにげなくつかってしまうのが「上手」という言葉ではないか。上手だね。上手いね。子どもの絵に対してではないかもしれない。美術館でも、ダリの絵の前に「上手」という声が聞こえてきて、びつくりしたりする。

自分も「上手」という一元的な評価にさらされてきたからだろう。それ以外に絵をほめる言葉を知らないのだ。そして、これこそ絵が苦手という人を生み出してしまう最大の要因なのではないかと思っている。

（中略）

漢字では「面白^{おもしろ}い」と書くように、目の前が明るくなること、が、「おもしろい」の語源だとされる。それまでの枠組みがこわされて光がさしこみ、今まで見えなかったものが見えるようになる。「おもしろい」は、見る人の心のなかでおこる作用であり、「！」なのだ。だから、子どもの絵を評価する言葉も、「上手」より、「おもしろい」がいいと思っている。

「おもしろい」は絶対的な評価ではなく、あくまで個人の感想だ。人によって、そしてテーマや色合い、構図などの視点によって、多様な「おもしろい」があり得る。そのぶん見る方も主体的に向きあう努力が必要だ。いかげんな言葉のようで「上手」よりずっと誠実で、アートに適した評価ではないか。

（齋藤亜矢『上手い、おもしろい』の文章による）

大問一（七） アートを評価する言葉としての「上手」と「おもしろい」について、筆者はどのように考えているか。それぞれの言葉に触れながら八十五字以内で説明せよ。

【解答例】 「上手」は一元的な評価の言葉であり、絵が苦手な人を生み出してしまうが、「おもしろい」は人によって多様なものなので、「上手」よりも誠実でアートに適した評価の言葉である。(83字)

大問三 (三) 正答率 10. 38% 無答率 8. 17%
 (四) 正答率 3. 75% 無答率 10. 38%

三 江戸幕府の前將軍徳川家慶の從弟、松平春嶽は、十一歳で越前福井藩主となつた。開国が攘夷(外国を排除しようとする)ことか国内が揺れているとき、春嶽は江戸城内で薩摩藩(鹿児島県のあたり)の藩主島津斉彬から將軍繼嗣(跡継ぎ)のことで相談を持ちかけられる。

以下は、それに続く場面である。これを読んで、あとの問いに答えよ。

(前略)

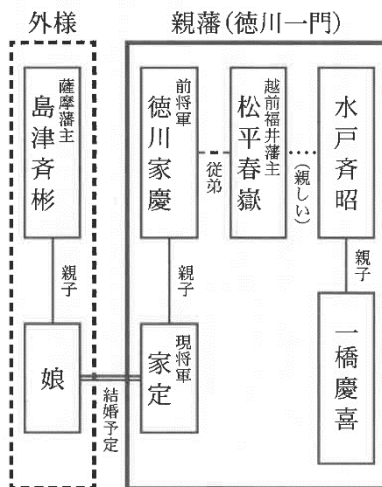
斉彬の目に強い光が加わつた。

春嶽は緊張した面持ちで斉彬の話に耳を傾ける。

「將軍繼嗣のことにわれら外様が口をはさむことは、僭越せんえつにて陰謀にも似ておりますゆえ、あらぬ疑いをかけられるかもしれない。しかしそれがしこれをなさねばならぬと思うのは、出過ぎたこと、来年にはアメリカのペリーが再び、来航いたし、**開国**を迫るからでござる。そのときは親藩や譜代、外様の別なく大名すべてが力を合わせ、この国に西洋に負けない軍備と産業を持たせねばならないのです。英明な將軍でなければならぬのです。これからは開国が攘夷かをめぐつて国論が二分されましよう。しかし、攘夷の総本山たる水戸斉昭様の実子である慶喜公がやがて將軍となれば、議論をまとめ、**挙国一致**で**国難**にあたることのできるのではありますせんか。」

斉彬が述べていることは明快だった。

【人物関係図】



国を挙げて一致団結する

黒船来航という難局にすべての大名が立ち向かわねばならない、ということだが、それは同時にいままで幕府を中心にしてきたペリーの率いる軍艦の在り様を変えようということでもあった。

諸大名が自らの意見を述べて国を動かすようになればどうなるか。

將軍が治める国から大名たちが連合して治める国にしようということにほかならない。だが、清国でアヘン戦争を起こしたイギリスなど西洋諸国と対等に渡り合うためにはそれを行うしかないのだ。

斉彬の言葉を聞いていた春嶽は膝を叩いて興奮した面持ちで、

「まことに天下を救う妙策でございます。」

と言った。斉彬の構想に従えば、英明な將軍と諸大名の間に立つ徳川一門の大名の役割が重要になる、と春嶽は察した。

（わたしにしかできぬことだ。）

春嶽の胸はしだいに昂揚してきた。

斉彬は穏やかな微笑を浮かべた。気持ちが高ぶる

「策は行ってこそ、意味があります。実現いたしてこそ初めて妙策と呼べるのでございましょう。」

「されど、この策を行えば、わが国は根こそぎ変わることになりはしませぬか。」

春嶽がたしかめるように問うと斉彬は鷹揚にうなずいた。ゆったりとして上品なさま

「さようなことになるかもしれませんが、ただ、それを恐れておのれの地位や身分に固執すれば国を亡ぼすことになりましょう。わたしはかような思い立ちをしたからには、薩摩だけでなく、おのが身をも捨てる覚悟を定めてござる。」

斉彬の様子は深沈として軽々しい気負いは感じられない。それだけに覚悟の深さが胸に響いて春嶽は慄然とした。恐れおののくさま

このような
落ち着いていて物事に動じないさま

（葉室麟『天翔ける』の文章による）

大問三（三） 次の文は春嶽の心情の変化を説明したものである。空欄に入る春嶽の思いを二十字以上三十文字以内で書け。

将軍継嗣として一橋慶喜を立てることについて、水戸斉昭への仲介を依頼されたときは、薩摩をどこまで信じてよいのか心配があり慎重になっていたが、その目的を聞いたときは、すばらしい案だと感心し、（ ） と思って気持ちが高ぶった。

【解答例】 英明な将軍と諸大名との間に立つ役割はわたしにしかできない（28字）

大問三（四） 傍線の部分について、なぜか。次の□の中の言葉をすべて用いて、五十五字以内で説明せよ。

挙国一致 覚悟

【解答例】 挙国一致で国難にあたるためなら、薩摩だけでなく、自分の身をも捨てるという斉彬の覚悟の深さが胸に響いたから。（53字）

〈誤答分析〉

- ・大問一（七）の解答では、設問の指示を手がかりとして、「上手」と「おもしろい」という言葉に対する筆者の考え方を比較して書く必要がある。誤答には、「一方で」「……より」などの比較表現を使って解答を書こうとはしているものの、二つの言葉の説明を文章の中からそのまま抜き出したために字数が足りず、意味の通らない解答になってしまっているものや、「一元的」に対して「多様」といった、対比して書くべき要素を適切に抜き出して整理できず、どちらか一方の言葉の説明だけを抜き出して書いているものなどが多く見られた。
- ・大問三（三）（四）で見られた誤答も、設問の指示を手がかりとして、必要な言葉を文章の中から抜き出すことはおおむねできているものの、大問一（七）と同様に、抜き出した言葉を再構成して字数内に収め、意味の通る文にすることができていないものが多かった。
→文章の内容を理解し、必要な言葉を文章の中から抜き出すことはおおむねできてはいるが、それらの抜き出した言葉を設問の指示に従って適切に再構成し、意味の通った文として書くことができない。

[全国学調・SASAで指摘された課題]

- ・平成30年度全国学力・学習状況調査

A 8四2 主語を明らかにし、文の構成を考えて書くこと。 25. 3%

- ・平成30年度全国学力・学習状況調査

B 1三 目的に応じ、論の展開を適切に捉えながら文章の内容を読み取って書くこと。 15. 6%

- ・SASA2018

A一（三）② 主語と述語の照応を明らかにし、文の構成を考えて書くこと。 34. 1%

〈今後の指導のポイント〉

- ・ 観点を決めて項目を整理する「マトリクス」や、論理の展開を意識するための「ステップチャート等」の思考ツールを用いて、情報を視覚化し整理する。(参考 『こうすれば考える力がつく！中学校思考ツール』 田村学・黒上晴夫著 小学館)
- ・ 因果関係、二項対立、具体と抽象など、論理の展開と構成を意識し整理するために、読み取った事柄を図式化したり文章化したりして、ペアやグループで説明し合う。
- ・ 要約など、「書くこと」の学習の際には、主語と述語、修飾語と被修飾語の関係に注意し、書いた文や文章が意味の通るものかどうか、観点を定めて自己評価したり互いに読み合う活動をしたりして、リライトする。

【課題③】 小学校までに学習した漢字について、文章の中で正しく使い分けることにやや課題がある。

大問二(一) ⑤ 正答率 16.11% 無答率 9.93%
⑥ 正答率 18.76% 無答率 28.48%

二 次の問題に答えよ。

問(一) 次の①～⑧の傍線の部分について、

漢字は読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書け。

⑤ 四列ジュウタイになって行進する。

⑥ ハチクの勢いで連勝する。

【解答例】 ⑤ 縦隊 ⑥ 破竹

〈誤答分析〉

- ・⑤では、同音異義語の「渋滞」と答える誤答が多く見られた。その他には「縦帯」「縦滞」「縦待」「縦態」など、「縦」の漢字は正しく書けるものの、「隊」の漢字を誤っている答が多く見られた。
- ・また⑥では、「破畜」「八九」「八苦」など、慣用句として全く意味をなさない漢字を組み合わせで書いた誤答が多く見られた。
→同音異義語や同訓異字など、意味を理解して漢字を使い分けることができない。また、四字熟語や慣用句など、学習した漢字を組み合わせでできる語彙の知識が不足している。

〔全国学調・SASAで指摘された課題〕

- ・SASA2016
A一（三） 語句の意味や働きを理解し、文脈の中で適切に使うこと。 36.2%
- ・SASA2018 小学校国語
A四（二）② 同訓異字「人のかわり」の下線部を漢字で書くこと。 32.1%
A四（二）③ 同音異義語「かんしんをもつ」の下線部を漢字で書くこと。 41.8%

〈今後の指導のポイント〉

- ・複数の意味を持つ言葉や使い分けの難しい言葉を使って、短文づくりをする。
- ・語感を磨き、語彙を豊かにするために、自分だけの「語彙手帳」を作る。
(参考 SASA2018 報告書 p67、68)
- ・新出の言葉や「日めくり教材」に出てくる慣用句、四字熟語など使って、スピーチをする。
(参考 SASA2016 報告書 p105)

英語A

1 H31年度入学者選抜(調査人数 168人)

大問	小問	配点	平均点	正答率	無答率	出題方式			課題	B受験者の の正答率	
						選択	短答	記述			
1	(1)	ア	3	0.62	6.59%	16.77%		○		課題①	
		イ	2	0.80	19.16%	32.34%		○			
	(2)		3	1.24	41.32%	0.00%	○				
	(3)		3	2.16	71.86%	0.00%	○				
	(4)		3	0.85	28.14%	0.60%	○				
	(5)		3	1.83	60.48%	0.60%	○				
	(6)		3	1.10	36.14%	1.81%	○				
	(7)	1	2	1.06	52.10%	1.80%	○				
		2	2	0.87	42.51%	1.80%	○				
		3	2	0.95	46.71%	1.80%	○				
4		2	0.98	47.90%	2.40%	○					
2	(1)	1	3	1.28	42.51%	0.00%	○				54.74%
		2	3	1.02	34.13%	0.00%	○				61.05%
		3	3	1.81	59.88%	0.60%	○				89.47%
	(2)	1	2	0.52	14.37%	24.55%		○		課題②	50.18%
		2	2	0.62	21.56%	20.36%		○			67.72%
		3	2	0.89	41.92%	5.39%		○			62.46%
	(3)	1	3	0.56	18.56%	0.00%	○			課題②	56.14%
		2	3	1.20	40.12%	0.00%	○				73.68%
		3	3	1.85	61.68%	0.00%	○				87.72%
	(4)		6	1.94	4.79%	30.54%			○		15.09%
3	(1)		2	0.98	49.10%	0.00%	○				82.46%
	(2)		2	0.94	44.91%	2.99%		○			82.46%
	(3)		3	1.23	40.36%	1.81%	○				76.14%
	(4)		3	1.82	59.88%	1.20%	○				74.74%
	(5)		3	1.24	40.72%	1.80%	○				79.65%
	(6)		4	0.61	0.60%	38.92%			○	課題①	1.40%
	(7)	1	3	1.04	34.13%	1.20%	○				77.19%
		2	3	1.00	32.93%	1.20%	○				67.72%
3		3	0.52	17.37%	0.60%	○			課題①	49.47%	
4			16	6.08	2.40%	16.77%			○	課題③	
合計			36.83								

※20%未満に網掛け

※20%未満に網掛け ※15%超過に網掛け

記述問題の総配点 26点

2 全体概要

良好 ○人物の考えを読み取ることができる。	大問 1 (3)
課題 ●必要な情報を読み取り、英語で表現することに課題がある。	大問 1 (1) ア 大問 3 (6) 大問 3 (7) 3
●必要な情報を聞き取り、英語で表現することに課題がある。	大問 2 (2) 1 大問 2 (3) 1
●自分の町(市)について、文章を書くことに課題がある。	大問 4

3 問題の概要

大問 1	長文を読んで設問に答える問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ A問題とB問題で異なる問題 ・ 学校祭の準備の過程で助け合うことの大切さを学ぶという内容 ・ 感想をまとめ概要を捉える問題がある。 ・ 英文の内容を速く正確に読み取る力を求めている。
大問 2	放送による聞き取りの問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然な口調で話される対話、ボランティア活動参加者への説明、英語学習の重要性に関する講演を聞く。 ・ 日本語を上手に話せるようになりたい外国人に対するアドバイスを英語で表現する力をみる。 ・ 必要な情報や話の要点を聞き取る力を求めている。
大問 3	対話文と資料を読んで設問に答える問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「高校生のインターネット使用」に関する会話文を読み取る問題 ・ 要点を把握したり、グラフや英文の情報を総合的に判断したりする力を求めている。
大問 4	書き出しに続けて、自分の考えを英語で述べる問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ A問題とB問題で異なる問題 ・ 自分の町(市)について40語程度で書く。

4 誤答分析と今後の指導のポイント

【課題①】必要な情報を読み取り、英語で表現することに課題がある。

大問 1 (1) ア

1 次の英文は、中学生の咲が自分の経験について語ったスピーチである。英文を読んで、あとの問いに答えよ。

One day in May, our teacher said to us, "We have our school festival next month. Each class must give a performance on the stage, such as singing a song and giving a presentation." All the students in my class became excited. The teacher said, "I hope the audience will enjoy the performance, but you should remember one thing. I want you to enjoy the performance. This is the most important thing because this will be your last school festival at this school." Then I came up with an idea. I said to my classmates, "How about dancing? All the students in this class will dance on the stage. Emi and I have learned it for five years, so we can teach it to you." Then Emi said, "I think giving a presentation about fair trade is better. We learned about it at school, but we should learn more about it." We talked for about thirty minutes, but it was difficult for us to decide what to do. The teacher said, "OK. Let's talk about the performance again next week."

After school, I found Emi at the school entrance. I said to her, "You didn't agree with me. Why? I like dancing, and I know you like dancing, too. We go to the same dance school." Emi said, "I think my idea is really good. Maybe I can make good memories of our junior high school days with you if we dance together, but" I got angry, and I did not know what to say. I went back home alone without saying goodbye.

After dinner, I talked with my father about the things which happened on that day. He said, "Your idea is good, and Emi's idea is good, too. It's very difficult for you to decide what to do in the school festival." Then my mother gave us ice cream for dessert. My father said, "This ice cream is a little expensive, but we always buy it because it is a fair trade product. We want to help poor people." I said, "I didn't know that. I'm surprised." I wanted to know more about the ice cream company and visited its website on the Internet.

The company was started in the United States in 1978. It is famous because it uses fair trade coffee and cacao to make their fair trade ice cream. Many farm workers making coffee and cacao can't work under fair conditions. The company tries to help them by buying their coffee and cacao at fair prices. There is another good point of the company. It does several good things for the world. For example, the company does some activities to stop global warming. I said to myself, "Maybe other fair trade companies like this are doing various things to make the world better. I want students in our school to learn more about those companies and support them."

I learned another thing from the website. The company was started by two young men. They were friends from elementary school. They sometimes had problems, but they helped each other and solved them. And finally, they became successful. When I read it, I thought about Emi. I said to myself, "At first, I thought my idea was better, so I didn't listen to her. But now I think her idea is better than mine. We are best friends, so we can help each other like the two men who started the ice cream company. I want to know more about her idea."

The next morning, I saw her on my way to school. She ran to me and said, "Saki, I'm sorry. After I got back home, I remembered the teacher's words and thought about you. If we want to enjoy the performance on the stage, we must help each other." Then I said, "Emi, I am sorry. I read about a fair trade company and its activities for the world yesterday, and I was impressed. Your idea of giving a presentation about fair trade will be a good chance to think about things we can do for the world. Let's talk about it with our classmates and see what they think of it." I smiled at her and she also smiled at me. I said to her, "OK, Emi. Let's discuss our ideas together."

(注) last 最後の see ～ ～を確かめる

(1) 次の質問に英語で答えよ。

ア In the teacher's opinion about the performance, what was the most important thing for the students?

【解答例】

It was to enjoy the performance.

正答率 6.59% 無答率 16.77%

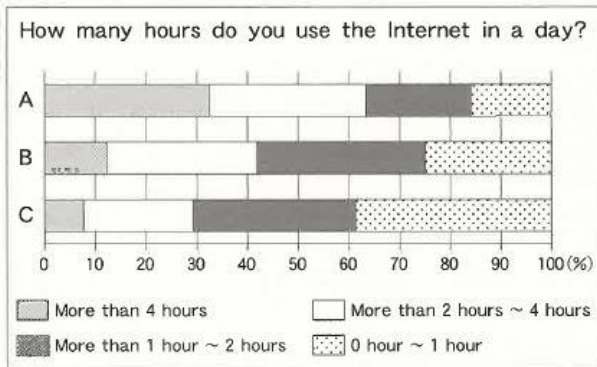
〈誤答分析〉

- ・疑問詞 what によって、先生が「最も大切なこと」と考えていることを答える設問だが、why の答えとなる “because this will be your last school festival at this school” を引用する誤答が多い。これらの疑問詞の意味はそれほど難しくないのに、文章の論理的な展開を正確につかめていないものと考えられる。また、問題文の “the most important thing” を読んで、その語句が書かれてある文章から解答を作成している。
- ・ “All the students in this class will dance on the stage.” や “They hope the audience will enjoy the performance.” という誤答も多く、話の流れをつかめていない。

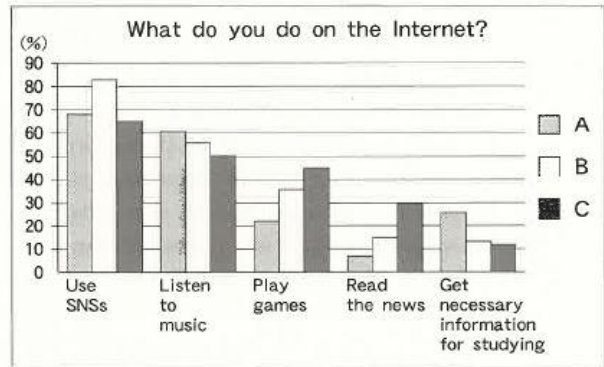
大問 3 (6)

- 3 佳奈とアメリカ出身のジョン、韓国出身のユンホたちのグループが、ベーカー先生の授業で、インターネット使い方についてグラフ(Graph)を見ながら話をしている。次のグラフと対話文を読んで、あとの問いに答えよ。ただし、グラフ1と2のA, B, Cは、それぞれ同じ国を指す。

Graph 1



Graph 2



グラフ2は複数回答可能のため、それぞれの割合を足すと100%を超える。

国立青少年教育振興機構サイト「高校生の生活と意識に関する調査報告書 - 日本・米国・中国・韓国の比較」(H27.8)より日米韓の3カ国を抜粋

Ms. Baker: Today, we're going to think about good ways to use the Internet. Look at Graph 1. What can we learn from it?

John: About thirty-three percent of the American high school students use the Internet for more than four hours. That doesn't surprise me because most of my friends in America and I use it for many hours.

Kana: I'm surprised to know American high school students use the Internet longer than Korean high school students. I heard the Internet is used in about ninety-five percent of the houses in Korea.

Yun-ho: Many Korean students go to cram schools almost every day. I think high school students in Korea study so hard that they don't have much time to surf the Internet.

John: That's interesting. I didn't know that.

Yun-ho: Anyway, using the Internet for many hours is not good for students.

Kana: I agree. I also think it's important for students to think about the things they do on the Internet.

Ms. Baker: Then look at Graph 2. What can we learn from it?

John: A lot of high school students use SNSs in all the countries. In Japan, more than eighty percent of the students use SNSs.

Kana: SNSs are very popular because we can send and get messages and pictures easily on SNSs.

Yun-ho: Communication on SNSs is convenient and fun. However, we should be careful because some people send the wrong information without thinking carefully, and it may cause problems.

Kana: That's true. Well, I am interested in another fact. About thirty percent of the Korean students read the news on the Internet. My teacher said a lot of Japanese students don't read newspapers these days. I think we should know what is happening around the world from newspapers or on the Internet.

John: In America, we find many news websites that show us the wrong information. So I think most of us choose other ways to read the news.

Yun-ho: I see. From now on, I'll be more careful when I read the news on the Internet.

Kana: The percentage of "Get necessary information for studying" in America is the highest.

John: In America, we need to talk about our own opinions in most of the classes. I read other people's opinions on the Internet. I compare them to make my own opinion better. I also get useful information to show in my presentation.

Yun-ho: I agree. Reading books is much better, but when we don't have time, the Internet is useful.

Kana: I heard we can protect ourselves by using SNSs. If a disaster happens, sometimes it's difficult to watch the news on TV or read newspapers. However, we can send and get various important information with SNSs to protect ourselves.

Ms. Baker: Thank you, everyone. We should be careful when we use the Internet, but there are good ways to use it, too. The Internet is helpful not only for learning, but also for protecting ourselves. Please talk about some good ways with your family. Write about them in your notebook and hand it in.

(注) SNS(s) インターネット上のソーシャル・ネットワーキング・サービス cram school(s) 塾
 Percentage 割合 ourselves 私たち自身 hand it in それを提出する

(6) 次の質問に 20 語程度の英語で答えよ。ただし、符号(, . ? ! など)は語数に含めないこと。
 How does John use the Internet for studying?

【解答例】

He compares other people's opinions to make his opinion better and gets useful information to show in his presentation.

正答率 0. 60% 無答率 38. 92%

〈誤答分析〉

- ・対話文の中に書かれてあるポイントを2つ含めていない解答が多い。「also」という語が2つのことが述べられている場合に「also」が使われることを理解できていない。
- ・対話文において、話の流れや文意を正確に把握できていない。設問に対して、文章中の語句を適切に使って制限語数内にまとめて説明する力が不足している。

大問3 (7) 3

(7) 次の英文は、授業の宿題として佳奈が書いたものである。英文の中の(1)~(3)に入る最も適当なものを、それぞれあとのア〜カから一つ選んで、その記号を書け。

In today's class, I learned the Internet becomes a more (1 convenient) tool for us. With my family, I talked about how to (2 protect) ourselves in an emergency like an earthquake. I know about SNSs better than my parents, so I taught them some ways to use SNSs in an emergency. We talked about another important thing. My grandparents live far away from us, and we always wonder what will happen to them if a disaster happens. However, with SNSs, my parents and I can (3) them, and know what is happening to them easily. I will tell my grandparents about it.

ア careful イ contact ウ convenient エ make オ protect カ send

【解答例】 イ 正答率 17. 37% 無答率 0. 60%

〈誤答分析〉

- ・誤答としてエやカを選んだ生徒が多い。その語を入れると“make them”や“send them”となるのだが、話の流れに全く合わないことが理解できていない。また、オを選んだ生徒も多く、その場合は“protect them”となり、一見すると意味をなすように思われるが、前後の文との関係から相応しくないことを読み取れていない。

[SASA で指摘された課題]

- ・SASA2017 4(2) 英語のスピーチの原稿を読んで、健が帰国後に日本人の友人との話を通してわかったことを理解すること。 30.9%
- ・SASA2017 4(3) 英語のスピーチの原稿を読んで、健がカナダでのホームステイや友人との話を通して、家族について学んだことを日本語で表現すること。 5.6%

〈今後の指導のポイント〉

- ・スピーチや対話文などの英文を読み、必要な情報や登場人物が最も言いたいことが書かれてある箇所を発表する。レベルに応じて、その箇所を日本語でまとめたり、英語でまとめたりする活動も展開する。
→授業の中に帯活動として英文を読む活動を取り入れる。教科書の内容に関連した英文や、ALT がニュースを中学生向けに書き換えたものを用いて、筆者の言いたいことを簡単に日本語や英語でまとめる活動を行う。
- ・授業の中に「英文を読む活動」を帯活動として取り入れ、英文を読む前に読取りのポイントをまとめる。(参考 SASA2014 指導例 報告書 p181)
- ・主人公の気持ちを読み取ったり、トピック・センテンスから必要な情報を選び、話を日本語でまとめたりする。(参考 SASA2017 指導例 報告書 p149-p150)

【課題②】必要な情報を聞き取り、英語で表現することに課題がある。

大問2 (2) 1

2 放送による問題(この問題は、検査開始後 35 分経過してから行う。)

(2) アメリカに留学中のあなたは、週末にボランティア活動に参加して、説明を聞いている。その内容をよく聞いて、次のメモ(MEMO)の(1)～(3)に、それぞれ最も適当な語句または数字を書け。ただし、(1)は2語、(2)は1語の英語で、(3)は数字で書け。

MEMO

First: work (1) ・one person will be a leader and get plastic bags

【放送原稿】

アメリカに留学中のあなたは、週末にボランティアに参加して、説明を聞いています。その内容をよく聞いて、問題用紙のメモの1から3の空所に、それぞれ最も適当な語句または数字を書きなさい。ただし、(1)は2語、(2)は1語の英語で、(3)は数字で書きなさい。英文は2回読まれます。では始めます。

Thank you for joining this volunteer activity. You will pick up garbage along the beach in the morning. I'm going to tell you three things about today's volunteer activity. First, please work in groups. In each group, we want one person to become a leader. Second, please put garbage you can burn into blue plastic bags and put other garbage into black plastic bags. We will give plastic bags to your leader later. Third, please take a rest for 5 minutes after working for 15 minutes. It will be very hot today. Please drink something during your activity. We hope everyone will go home with a smile after this volunteer activity. OK. Let's begin.

【解答例】

1. in groups 正答率 14.37% 無答率 24.55%

〈誤答分析〉

- ・誤答の多くがグループを、grup、grope、gruup、gloup、grophe などとするスペルミスであった。教科書で“group”は3箇所、そのうち“in groups”の句では1箇所用いられているが、授業や宿題で生徒が書く英作文の中では使用頻度が低かったものと思われる。また、綴りと発音の関係の理解も低い。

大問 2 (3) 1

(3) 中学生のあなたは、学校で特別講演を聞いている。その内容に合うように、講演のあとに読まれる質問の答えとして最も適当なものを、それぞれ次のア～エから一つ選んで、その記号を書け。

- 1 ア To be able to meet Mr. Smith.
- イ To be successful in their jobs.
- ウ To have more time to study English.
- エ To make a lot of friends and enjoy happier lives.

【放送原稿】

中学生のあなたは、学校で特別講演を聞いています。その内容に合うように、講演のあとに読まれる質問の答えとして最も適当なものを、それぞれ問題用紙のアからエから一つ選んで、その記号を書きなさい。英文と質問は2回読まれます。では始めます。

Woman: Hello, everyone. Mr. Smith works for a big company and visits many countries to do his job. Today, he will tell us about the importance of studying English. Please welcome Mr. Smith.

Man: Hi, I'm Kevin Smith. I'm glad to have a chance to meet you. Do you enjoy studying English? English is called an international language. There are many good things if you can speak English. First, you'll be successful in your jobs. You'll have to work with people from countries around the world in the future. If you can speak English, you can have good communication with them. Second, you can make many friends around the world. You'll learn various things from them and have fun with them. Your lives will be happier. I think this is the best thing for you. I hear Japanese people study English for about 1,000 hours in junior high school and in high school. I think it is necessary for them to study English for more than 3,000 hours if they want to speak it well. I also hear Japanese people start studying English in elementary school now. Some people disagree with it, but I agree. Please find more time to study English after school or on weekends. I hope I will work with you and talk with you in English in the future.

Question 1: What is the best thing for Japanese people if they can speak English well?

【解答例】

1. エ To make a lot of friends and enjoy happier lives. 正答率 18.56% 無答率 0.00%

〈誤答分析〉

- ・イを選んだ生徒は、Question と講演内容の“the best thing”の結びつきが重要であることに気づかず、最初に聞いた内容を選んでいる。
- ・ウを選んだ生徒がイを選んだ生徒の約2倍であった。講演の終わり近くにある文“Please find more time to study English”が、講演全体の中でどのような働きをしているか、つまり文章構成や段落構成についての理解が低い。

[SASA で指摘された課題]

- ・SASA2018 1(1)(2)自然な口調で読まれる英文を聞いて、具体的な内容を正しくとらえ、英語の質問に対して正しい答えを指摘すること。

〈今後の指導のポイント〉

- ・複数の技能を関連付けた活動をする。例えば、音声による英文（聞き取り）と書かれた英文やグラフ（読み取り）などから、問いに対する答えを考える。
→教科書に関連する情報の一つとして、他教科の教科書の内容を英文にしたり、グラフを用いたりする。
- ・教科書本文の内容を聞き、聞いて分かったことを相手に伝える。（参考 SASA2016 指導例 報告書 p180）

【課題③】 自分の町（市）について、文章を書くことに課題がある。

大問 4

- 4 次の書き出しに続けて、あなた自身のことについて 40 語程度の英語で書け。ただし、“I'm going to write about my hometown.”の部分と、符号は語数に含めないこと。

I'm going to write about my hometown.

【解答例】

I live in Mikuni. It is in the north of Fukui Prefecture. I am proud of the beautiful sea. I enjoy swimming and fishing. I am also proud of our fireworks festival. It is the most popular event in Fukui.

正答率 2.40% 無答率 16.77%

〈誤答分析〉

- ・正答率は満点（16点）の生徒の割合である。教科書レベルの問題ではあるが、自分自身のことについて書く場合と比べて、自分が生まれ育った町（市）については紹介文を書くための十分な知識がない。
- ・また、2つの問題点がある。1つは、文法の間違いやスペルミスによる減点が多いことである。主語と動詞の組み合わせ、形容詞・副詞の使い分け、動詞の活用などの間違いが多い。「話す」技能を高める活動は行われているが、正確に「書く」技能を高める活動が不足しているものと考えられる。
- ・もう1つは、全体の構成が拙いことである。生まれ育った町（市）のよいところを思いつく限り短い文で並べる解答が多い。読み手に分かりやすく、町（市）のイメージを持てるよう、十分に配慮した文章にすることに慣れていない。

〈今後の指導のポイント〉

- ・たとえば、英検3級の英作文における指示のように、パラグラフライティングを意識した、読みやすい構成で書く場面を設定する。
→レッスンの終わりや、各セクションの終わりに、教科書で学んだことに関連した英作文を書く。その場合、①自分の意見・主張、②1つめの理由、③その根拠、④2つめの理由、⑤その根拠、の順で英文を書く。生徒どうしで添削したり、ALTと協力して添削したりする。

英語B

1 H31年度入学者選抜(調査人数 285人)

大問	小問	配点	平均点	正答率	無答率	出題形式			課題	A受験者の正答率	
						選択	短答	記述			
1	(1)	3	2.62	87.02%	0.35%	○					
	(2)	3	2.27	75.44%	0.35%	○					
	(3)	3	2.15	71.58%	0.35%	○					
	(4)	3	2.20	72.98%	0.35%	○					
	(5)	4	2.21	30.88%	2.81%		○				
	(6)	3	2.55	84.56%	0.35%	○					
	(7)	3	2.24	74.04%	0.70%	○					
	(8)	6	4.33	20.00%	2.11%			○			
2	(1)	1	3	1.64	54.74%	0.00%	○			42.51%	
		2	3	1.83	61.05%	0.00%	○			34.13%	
		3	3	2.68	89.47%	0.00%	○			59.88%	
	(2)	1	2	1.15	50.18%	0.70%		○		14.37%	
		2	2	1.40	67.72%	0.35%		○		21.56%	
		3	2	1.26	62.46%	0.00%		○		41.92%	
	(3)	1	3	1.68	56.14%	0.00%	○			18.56%	
		2	3	2.21	73.68%	0.00%	○			40.12%	
		3	3	2.63	87.72%	0.00%	○			61.68%	
	(4)	6	3.63	15.09%	2.46%			○		4.79%	
	3	(1)	2	1.65	82.46%	0.00%	○				49.10%
		(2)	2	1.65	82.46%	0.00%		○			44.91%
(3)		3	2.29	76.14%	0.35%	○				40.36%	
(4)		3	2.26	74.74%	0.70%	○				59.88%	
(5)		3	2.41	79.65%	1.05%	○				40.72%	
(6)		4	1.01	1.40%	13.68%			○	課題①	0.60%	
(7)		1	3	2.33	77.19%	0.70%	○				34.13%
		2	3	2.05	67.72%	0.70%	○				32.93%
		3	3	1.50	49.47%	1.05%	○				17.37%
4	(1)	8	3.47	6.67%	4.21%			○	課題②		
	(2)	8	4.21	16.49%	4.56%			○			
合計			64.64								

※20%未満に網掛け

※20%未満に網掛け ※15%超過に網掛け

記述問題の総配点
32点

2 全体概要

良好	
○人物の考えを読み取ることができる。	大問 1 (1) ~ (4) 大問 1 (6)、(7)
○対話や英文を聞いて、要点を理解することができる。	大問 2 (1) 3 大問 2 (3) 2、3
○対話と資料を読んで、要点を理解することができる。	大問 3 (1) ~ (5) 大問 3 (7) 1
課題	
●必要な情報を読み取り、英語で表現することに課題がある。	大問 3 (6)
●社会的な話題について、英語で表現することに課題がある。	大問 4 <input type="text" value="1"/>

3 問題の概要

大問 1	長文を読んで設問に答える問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ A問題とB問題で異なる問題 ・ 感謝の言葉について考えながら人と人とのコミュニケーションの大切さに気づくという内容 ・ 感謝を伝えたい相手について英語で表現する力をみる。 ・ 英文の内容を速く正確に読み取る力を求めている。
大問 2	放送による聞き取りの問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然な口調で話される対話、ボランティア活動参加者への説明、英語学習の重要性に関する講演を聞く問題 ・ 日本語を上手に話せるようになりたい外国人に対するアドバイスを英語で表現する力をみる。 ・ 必要な情報や話の要点を聞き取る力を求めている。
大問 3	対話文と資料を読んで設問に答える問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「高校生のインターネット使用」に関する会話文を読み取る問題 ・ 要点を把握したり、グラフや英文の情報を総合的に判断したりする力を求めている。
大問 4	対話文を読んで、与えられた立場での意見を英語で述べる問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ A問題とB問題で異なる問題 ・ 「貧しい国の人々への支援」について「人を派遣する」という意見、「お金を集めて送る」という意見の理由を、立場を理解して、それぞれ20語程度の英語で表現する力を求めている。

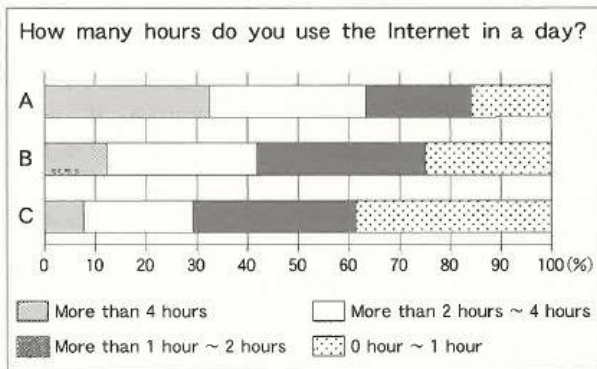
4 誤答分析と今後の指導のポイント

【課題①】必要な情報を読み取り、英語で表現することに課題がある。

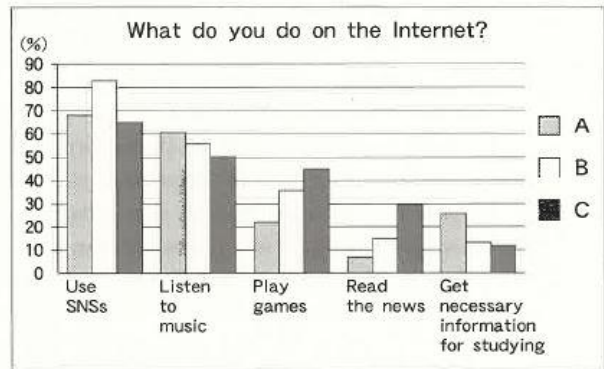
大問3 (6)

3 佳奈とアメリカ出身のジョン、韓国出身のユンホたちのグループが、ペーカー先生の授業で、インターネット使い方についてグラフ(Graph)を見ながら話をしている。次のグラフと対話文を読んで、あとの問いに答えよ。ただし、グラフ1と2のA, B, Cは、それぞれ同じ国を指す。

Graph 1



Graph 2



グラフ2は複数回答可能なため、それぞれの割合を足すと100%を超える。

国立青少年教育振興機構サイト「高校生の生活と意識に関する調査報告書 - 日本・米国・中国・韓国の比較」(H27.8)より日米韓の3カ国を抜粋

Ms. Baker: Today, we're going to think about good ways to use the Internet. Look at Graph 1. What can we learn from it?

John: About thirty-three percent of the American high school students use the Internet for more than four hours. That doesn't surprise me because most of my friends in America and I use it for many hours.

Kana: I'm surprised to know American high school students use the Internet longer than Korean high school students. I heard the Internet is used in about ninety-five percent of the houses in Korea.

Yun-ho: Many Korean students go to cram schools almost every day. I think high school students in Korea study so hard that they don't have much time to surf the Internet.

John: That's interesting. I didn't know that.

Yun-ho: Anyway, using the Internet for many hours is not good for students.

Kana: I agree. I also think it's important for students to think about the things they do on the Internet.

Ms. Baker: Then look at Graph 2. What can we learn from it?

John: A lot of high school students use SNSs in all the countries. In Japan, more than eighty percent of the students use SNSs.

Kana: SNSs are very popular because we can send and get messages and pictures easily on SNSs.

Yun-ho: Communication on SNSs is convenient and fun. However, we should be careful because some people send the wrong information without thinking carefully, and it may cause problems.

Kana: That's true. Well, I am interested in another fact. About thirty percent of the Korean students read the news on the Internet. My teacher said a lot of Japanese students don't read newspapers these days. I think we should know what is happening around the world from newspapers or on the Internet.

John: In America, we find many news websites that show us the wrong information. So I think most of us choose other ways to read the news.

Yun-ho: I see. From now on, I'll be more careful when I read the news on the Internet.

Kana: The percentage of "Get necessary information for studying" in America is the highest.

John: In America, we need to talk about our own opinions in most of the classes. I read other people's opinions on the Internet. I compare them to make my own opinion better. I also get useful information to show in my presentation.

Yun-ho: I agree. Reading books is much better, but when we don't have time, the Internet is useful.

Kana: I heard we can protect ourselves by using SNSs. If a disaster happens, sometimes it's difficult to watch the news on

TV or read newspapers. However, we can send and get various important information with SNSs to protect ourselves.
Ms. Baker: Thank you, everyone. We should be careful when we use the Internet, but there are good ways to use it, too. The Internet is helpful not only for learning, but also for protecting ourselves. Please talk about some good ways with your family. Write about them in your notebook and hand it in.

(注) SNS(s) インターネット上のソーシャル・ネットワーキング・サービス cram school(s) 塾
Percentage 割合 ourselves 私たち自身 hand it in それを提出する

(6) 次の質問に 20 語程度の英語で答えよ。ただし、符号(, . ? ! など)は語数に含めないこと。

How does John use the Internet for studying?

【解答例】

He compares other people's opinions to make his opinion better and gets useful information to show in his presentation.

正答率 1. 40% 無答率 13. 68%

〈誤答分析〉

- ・対話文の中に書かれてあるポイントを2つ含めていない解答が多い。「also」という語が2つのことが述べられている場合に「also」が使われる」ことを理解できていない。
- ・対話文において、話の流れや文意を正確に把握できていない。設問に対して、文章中の語句を適切に使って制限語数内にまとめて説明する力が不足している。

[SASA で指摘された課題]

- ・SASA2017 4(2) 英語のスピーチの原稿を読んで、健が帰国後に日本人の友人との話を通してわかったことを理解すること。 30. 9%
- ・SASA2017 4(3) 英語のスピーチの原稿を読んで、健がカナダでのホームステイや友人との話を通して、家族について学んだことを日本語で表現すること。 5. 6%

〈今後の指導のポイント〉

- ・スピーチや対話文などの英文を読み、必要な情報や登場人物が最も言いたいことが書かれてある箇所を発表する。レベルに応じて、その箇所を日本語でまとめたり、英語でまとめたりする活動も展開する。
→授業の中に帯活動として英文を読む活動を取り入れる。教科書の内容に関連した英文や、ALT がニュースを中学生向けに書き換えたものを用いて、筆者の言いたいことを簡単に日本語や英語でまとめる活動を行う。
- ・授業の中に「英文を読む活動」を帯活動として取り入れ、英文を読む前に読取りのポイントをまとめる。(参考 SASA2014 指導例 報告書 p181)
- ・主人公の気持ちを読み取ったり、トピック・センテンスから必要な情報を選び、話を日本語でまとめたりする。(参考 SASA2017 指導例 報告書 p149-p150)

【課題②】社会的な話題について、英語で表現することに課題がある。

大問4

4 放課後、英語クラブで留学生のマークと亜美が話をしている。次の対話文の流れに合うように、 および に入る内容を考えて、それぞれ20語程度の英語で書け。ただし、符号(, . ? ! など)は語数に含めないこと。

Mark: There are a lot of poor countries in the world. I think Japan and America should send more people to those countries to help people there.

Ami: So you think sending people is the most helpful. Why do you think so?

Mark: Let me see.

Ami: I understand your opinion. Well, I think it's better to collect money and send it to poor countries in the world.

Mark: I see what you mean. I think both have good points.

【解答例】

1. It is more important to teach them many skills. They can use the skills for themselves for a long time.

正答率 6.67% 無答率 4.21%

〈誤答分析〉

- ・ 貧しい国に「人を送ること」が **helpful** であるとするにとどまる解答が多かった。「お金を送ること」も **helpful** であり、「人を送ること」ならではの利点について考えていない。
- ・ 貧しい国に「人を送ること」に触れず、「食料を送ること」について答えている解答も多かった。「食料を送ること」が「お金を送ること」と並んで一般的であるためと考えられるが、対話の流れに合っていない。

〈今後の指導のポイント〉

- ・ 教科書の各レッスンのテーマに関連する新聞記事やウェブサイトなどから、生徒のレベルに合った英文を取り出し、生徒が読んで、要約や感想をまとめる活動をおこなう。
 - 学習動機や課題意識の高まりに合わせ、教科書以外の英文に多く触れ、様々な情報に触れる場面を増やす。
 - 各自が課題意識をもって英文や情報に触れることで、生徒自身が関連した内容を見つける課題解決型の学習活動を行う。

数学A

1 H31年度入学者選抜(調査人数 168人)

大問	小問	配点	平均点	正答率	無答率	出題形式			履修学年	課題	B受験者の正答率	
						選択	短答	記述				
1	(1)	ア	4	3.52	88.02%	0.00%		○		1		96.14%
		イ	4	3.63	89.22%	1.80%		○		3		97.19%
		ウ	4	1.18	28.14%	2.40%		○		2		69.47%
	(2)		5	4.07	75.45%	5.39%		○		3		
	(3)		5	2.96	53.89%	5.39%		○		3		86.67%
	(4)		6	1.97	20.96%	0.60%	○			3	課題①	43.16%
	(5)		6	4.64	75.45%	1.80%		○		2		92.63%
	(6)		6	2.11	25.15%	9.58%		○	○	1		65.96%
2	(1)		6	4.62	59.88%	3.59%		○		2		
	(2)		4	2.36	57.49%	2.40%	○			3		
3	(1)		6	3.88	46.11%	2.40%		○		1		
	(2)		4	1.87	25.75%	20.96%		○		1	課題②	
4	(1)		4	2.92	68.86%	5.39%			○	2		93.68%
	(2)		6	1.79	25.15%	9.58%		○		2		60.70%
5	(1)		6	3.46	29.34%	4.19%		○		2		79.30%
	(2)		4	0.73	9.58%	41.92%		○		2		53.68%
6	(1)		8	2.59	11.38%	18.56%			○	3	課題③	58.95%
	(2)	ア	8	1.93	4.79%	9.58%		○		3		34.39%
		イ	4	0.00	0.00%	53.29%		○		3		8.77%
合計			47.32									

※20%未満に網掛け ※15%超過に網掛け

※20%未満に網掛け

記述問題の総配点
18点

2 全体概要

良好	
○因数分解することができる。	大問 1 (2)
○多角形の外角の和の性質を理解し、求めることができる。	大問 1 (5)
○問題文を正確に読み取った内容を図に表すことができる。	大問 4 (1)
課題	
●関数の増減をとらえることに課題がある。	大問 1 (4)
●代表値を正しくとらえ、処理することに課題がある。	大問 3 (2)
●2つの三角形が相似であることを正しく証明することに課題がある。	大問 6 (1)

3 問題の概要

A B 大問 1	小問題 (A(2)、B(5) 以外 A B 共通問題)	<ul style="list-style-type: none"> ・数と式、関数、図形に関する基本的な問題 ・正確な知識や正しく処理する技能を求めている。
A 大問 2	関数	<ul style="list-style-type: none"> ・関数の知識に関する基本的な問題 ・式や表から傾きや切片を求めたり、グラフから変域を読み取ったりする力を求めている。
A 大問 3	資料の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の活用に関する基本的な問題 ・資料から代表値を読み取る力を求めている。
A 大問 4 B 大問 2	確率 (A B 共通問題)	<ul style="list-style-type: none"> ・基石を手順に従って並べ、条件を満たす確率を求める問題 ・確率の意味を正しく理解し、条件を満たした場合の数を正しく数え上げる力を求めている。
A 大問 5 B 大問 3	連立方程式 (A B 共通問題)	<ul style="list-style-type: none"> ・連立方程式を利用して解く問題 ・条件を整理し、表にまとめる力を求めている。
A 大問 6 B 大問 4	平面図形 (A B 共通問題)	<ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理や円の性質、相似などの知識や概念を用いて解決する問題 ・証明に用いる根拠を的確に示し、見通しを持って説明する力を求めている。
B 大問 5	関数	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の面積の変化をとらえる問題 ・関数的な見方、考え方を活用して問題を解決したり、理由を説明したりする力を求めている。

4 誤答分析と今後の指導のポイント

【課題①】関数の増減をとらえることに課題がある。

大問1(4) 正答率 21.0% 無答率 0.6%

(4) 2つの関数 $y = ax + b$ …① と $y = ax^2$ …② がある。①, ②のそれぞれについて、 $a > 0$ のとき、 x の値が増加するにつれて y の値はどのように変化するか、最も適するものを、次のア～エから、1つずつ選んで、その記号を書け。

ア 増加する。

イ 減少する。

ウ x が負では増加し、 x が正では減少する。

エ x が負では減少し、 x が正では増加する。

答

①	<input type="text"/>
②	<input type="text"/>

(4) $\left\{ \begin{array}{l} \text{① ア} \\ \text{② エ} \end{array} \right.$

〈誤答分析〉

・①エ ②ア としている誤答

→「 x の値が増加するにつれて y の値はどのように変化するか」という問いの意味を理解できなかった誤答。また、「 $y = ax + b$ は x が負では減少し、 x が正では増加する」、「関数 $y = ax^2$ は x 軸よりも常に上にあるから y の値は増加する」、などと関数の値の正負と増加・減少という状態を混同していることも誤答につながったと考えられる。

[SASA で指摘された課題]

SASA2015 11 与えられた式が比例関係を表していることを理解すること。

〈今後の指導のポイント〉

・問題の内容を正確に読み取り、 x の値が増加すると y の値がどのように変化するかをグラフで確認することで、言葉や記号を用いて文章化する活動をする。

【課題②】代表値を正しくとらえ、処理することに課題がある。

大問3 (2) 正答率 25.8% 無答率 21.0%

3 10人の生徒が100点満点のテストを受けたところ、下のような得点であった。

52, 57, 60, 66, 75, 78, 84, 87, 87, 90

このとき、次の問いに答えよ。

(2) 欠席していた1人の生徒が、後日同じテストを受けた。この生徒と前に受けた10人をあわせた11人の生徒の得点の中央値が、この生徒の得点と一致した。この生徒の得点として考えられる値をすべて答えよ。ただし、得点は整数とする。

【解答例】

(2) 75, 76, 77, 78 (点)

〈誤答分析〉

・75、78としている誤答

→75から78の値の間に中央値が存在することは理解しているが、76と77の値を書き落とした誤答だと考えられる。

・76、77としている誤答

→(1)の10人における中央値76.5に一番近い整数値である76と77を答えた誤答だと考えられる。

〈今後の指導のポイント〉

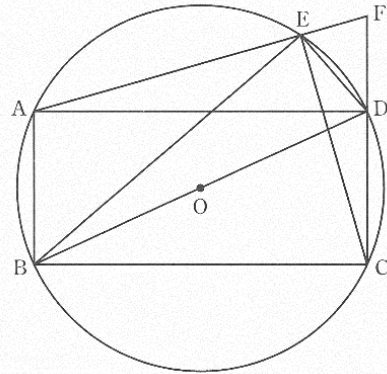
・用語の意味を正しく理解するために、正しく用語を用いて、立式する過程等をペアやグループで説明し合う。

・条件を変更したときの中央値や平均値、最頻値を求め、条件の変更によって値がどのように変化したかを考え、ペアで説明する場面を設定する。

【課題③】 2つの三角形が相似であることを正しく証明することに課題がある。

大問6 (1) 正答率 11.4% 無答率 18.6%

6 右の図のように、円Oの周上の4点A, B, C, Dを頂点とする長方形ABCDがある。点B, Cを含まない \widehat{AD} 上に、点A, Dと異なる点Eをとり、直線AEと直線CDの交点を点Fとする。



このとき、次の問いに答えよ。

(1) $\triangle ADF \sim \triangle BED$ であることを証明せよ。

(1) $\triangle ADF$ と $\triangle BED$ で、

\widehat{DE} に対する円周角だから、

$$\angle DAF = \angle EBD \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

四角形ABCDは長方形であり、 $\angle ADF$ は頂点Dにおける外角だから、

$$\angle ADF = 90^\circ \quad \dots\dots \textcircled{2}$$

\widehat{BD} に対する円周角であり、四角形ABCDは長方形だから

$$\angle BED = \angle BAD = 90^\circ \quad \dots\dots \textcircled{3}$$

②, ③から、 $\angle ADF = \angle BED \quad \dots\dots \textcircled{4}$

①, ④から、2組の角が、それぞれ等しいので、

$$\triangle ADF \sim \triangle BED$$

〈誤答分析〉

- ・ 2つの三角形が相似であることを証明する問題であるにもかかわらず、合同であることを示そうとする誤答
→問題文を読み取れていないか、相似の記号と合同の記号を混同した誤答だと考えられる。
- ・ 相似条件として「1組の辺とその両端の角が等しい」、「2組の辺とその間の角が等しい」、「2組の辺がそれぞれ等しい」など、正確な表現になっていない誤答
→証明するための相似条件を正確に理解していない誤答だと考えられる。
- ・ 円周角という用語を使っていない誤答や、錯角や同位角などの用語を使った誤答、「 \angle 」を「 \triangle 」と書いている誤答
→数学の用語や記号を正確に理解していない誤答だと考えられる。

〈今後の指導のポイント〉

- ・ 図等の与えられた情報から証明に必要な条件を整理し、根拠を明確にして説明し合う。

数学B

1 H31年度入学者選抜(調査人数 285人)

大問	小問	配点	平均点	正答率	無答率	出題形式			履修 学年	課題	A受験者 の正答率	
						選択	短答	記述				
1	(1)	ア	4	3.85	96.14%	0.00%		○		1		88.02%
		イ	4	3.89	97.19%	0.00%		○		3		89.22%
		ウ	4	2.8	69.47%	0.35%		○		2	課題③	28.14%
	(2)		5	4.36	86.67%	0.00%		○		3		53.89%
	(3)		6	2.74	43.16%	0.35%	○			3	課題②	20.96%
	(4)		6	5.58	92.63%	0.00%		○		2		75.45%
	(5)		5	4.15	60.70%	0.00%			○	3		
2	(1)		4	3.76	93.68%	0.35%			○	2		68.86%
	(2)		6	3.77	60.70%	1.75%		○		2		25.15%
3	(1)		6	5.39	79.30%	0.00%		○		2		29.34%
	(2)		4	2.65	53.68%	14.74%		○		2		9.58%
4	(1)		8	6.48	58.95%	0.70%			○	3		11.38%
	(2)	ア	8	4.91	34.39%	0.70%		○		3	課題①	4.79%
		イ	4	0.68	8.77%	48.42%		○		3		0.00%
5	(1)		3	2.46	81.05%	0.70%		○		3		
	(2)		5	4.4	64.21%	0.35%			○	3		
	(3)		6	3.95	53.68%	6.67%		○		3		
	(4)		6	2.05	17.89%	25.96%			○	3		
合計				70.88								

※20%未満に網掛け

※20%未満に網掛け ※15%超過に網掛け

記述問題の総配点
34点

2 全体概要

<p>良好</p> <p>○二次方程式の解を正しく求めることができる。 大問 1 (2)</p> <p>○問題設定を理解し、表に正しくまとめることができる。 大問 3 (1)</p> <p>○グラフが与えられた関数の式を正しく求めることができる。 大問 5 (1)</p>	
<p>課題</p> <p>●相似比を利用して辺の長さを求めることに課題がある。 大問 4 (2) ア</p> <p>●関数の増減をとらえることに課題がある。 大問 1 (3)</p> <p>●分数を含む文字式の計算を正しく処理することに課題がある。 大問 1 (1) ウ</p>	

3 問題の概要

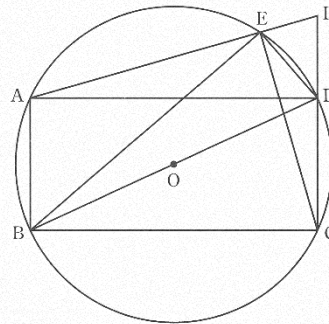
A B 大問 1	小問題 (A(2)、B(5) 以外 A B 共通問題)	<ul style="list-style-type: none"> ・数と式、関数、図形に関する基本的な問題 ・正確な知識や正しく処理する技能を求めている。
A 大問 2	関数	<ul style="list-style-type: none"> ・関数の知識に関する基本的な問題 ・式や表から傾きや切片を求めたり、グラフから変域を読み取ったりする力を求めている。
A 大問 3	資料の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の活用に関する基本的な問題 ・資料から代表値を読み取る力を求めている。
A 大問 4 B 大問 2	確率 (A B 共通問題)	<ul style="list-style-type: none"> ・基石を手順に従って並べ、条件を満たす確率を求める問題 ・確率の意味を正しく理解し、条件を満たした場合の数を正しく数え上げる力を求めている。
A 大問 5 B 大問 3	連立方程式 (A B 共通問題)	<ul style="list-style-type: none"> ・連立方程式を利用して解く問題 ・条件を整理し、表にまとめる力を求めている。
A 大問 6 B 大問 4	平面図形 (A B 共通問題)	<ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理や円の性質、相似などの知識や概念を用いて解決する問題 ・証明に用いる根拠を的確に示し、見通しを持って説明する力を求めている。
B 大問 5	関数	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の面積の変化をとらえる問題 ・関数的な見方、考え方を活用して問題を解決したり、理由を説明したりする力を求めている。

4 誤答分析と今後の指導のポイント

【課題①】 相似比を利用して辺の長さを求めることに課題がある。

問4 (2) ア 正答率 34.4% 無答率 0.7%

4 右の図のように、円Oの周上の4点A, B, C, Dを頂点とする長方形ABCDがある。点B, Cを含まない \widehat{AD} 上に、点A, Dと異なる点Eをとり、直線AEと直線CDの交点を点Fとする。



このとき、次の問いに答えよ。

(2) $AB = 2$ cm, $BC = 2\sqrt{2}$ cm, $DF = 1$ cm とする。

ア 円Oの半径とDEの長さを求めよ。

【解答例】

(2) ア 円Oの半径 $\sqrt{3}$ (cm) $DE = \frac{2}{3}\sqrt{3}$ (cm)

〈誤答分析〉

円Oの半径を求めることはできていたが、DEの長さを求めることができていない。

・ $BD = 2\sqrt{3}$ と求め、 $1 : 2\sqrt{2} = DE : 2\sqrt{3}$ から $DE = \frac{\sqrt{6}}{2}$ としている誤答

→ 設問(1)で証明した $\triangle ADF \sim \triangle BED$ から、BDに対応する辺はAFなのにADととらえ、対応する辺を間違えた誤答である。

・ $DE = 1$ としている誤答

→ 2つの三角形が、相似であることは証明しているが合同であることは証明していないのに、対応する辺の長さが等しいと考えて、 $DE = FD = 1$ とした誤答である。

〈今後の指導のポイント〉

・ 相似比を利用して辺の大きさなどを求める場合、立式する過程を言葉で説明する場面を設定する。その際、利用する定理や性質を明確にし、辺や角を正確に対応させながら説明する。

【課題②】関数の増減をとらえることに課題がある。

大問1(3) 正答率 43.2% 無答率 0.4%

(3) 2つの関数 $y = ax + b$ …① と $y = ax^2$ …② がある。①, ②のそれぞれについて、 $a > 0$ のとき、 x の値が増加するにつれて y の値はどのように変化するか、最も適するものを、次のア～エから、1つずつ選んで、その記号を書け。

ア 増加する。

イ 減少する。

ウ x が負では増加し、 x が正では減少する。

エ x が負では減少し、 x が正では増加する。

答

①	<input type="text"/>
②	<input type="text"/>

【解答例】

(3) $\left\{ \begin{array}{l} \text{① ア} \\ \text{② エ} \end{array} \right.$

〈誤答分析〉

・①エ ②ア としている誤答

→「 x の値が増加するにつれて y の値はどのように変化するか」という問いの意味を理解できなかった誤答。また、「 $y = ax + b$ は x が負では減少し、 x が正では増加する」、「関数 $y = ax^2$ は x 軸よりも常に上にあるから y の値は増加する」、などと関数の値の正負と増加・減少という状態を混同していることも誤答につながったと考えられる。

[SASA で指摘された課題]

SASA2015 11 与えられた式が比例関係を表していることを理解すること。

〈今後の指導のポイント〉

・問題の内容を正確に読み取り、 x の値が増加すると y の値がどのように変化するかをグラフで確認することで、言葉や記号を用いて文章化する。

【課題③】分数を含む文字式の計算を正しく処理することに課題がある。

大問1 (1) ウ 正答率 69.5% 無答率 0.4%

(1) 次の計算をせよ。

$$\text{ウ } a - \frac{2a - b}{3}$$

【解答例】

$$\text{ウ } \frac{a + b}{3}$$

〈誤答分析〉

・ $\frac{-a+b}{3}$ としている誤答

$$\rightarrow a - \frac{2a-b}{3} = \frac{a-2a+b}{3} = \frac{-a+b}{3} \text{ とした誤答だと考えられる。}$$

・ $a + b$ としている誤答

→ 方程式と混同して分母を払い、 $a - \frac{2a-b}{3} = 3a - 2a + b = a + b$ とした誤答だと考えられる。

〈今後の指導のポイント〉

・ 計算結果をペアやグループで確認し、誤りがある場合はどこが間違っているかを指摘し合う。

社会

1 H31年度入学者選抜(調査人数 436人)

大問	小問	配点	平均点	正答率	無答率	出題方式			履修学年	課題	
						選択	短答	記述			
1	(1)	3	2.19	73.17%	0.00%	○			1		
	(2)	2	1.17	57.11%	2.75%		○		1		
	(3)	2	1.30	64.91%	0.46%	○			1		
	(4)	3	1.46	14.45%	3.21%			○	1		
	(5)	記号	2	0.89	43.81%	1.15%	○			2	
		理由	2	0.75	23.62%	6.42%			○	2	
2	(1)	2	0.64	31.42%	0.00%	○			1		
	(2)	形状	1	0.59	56.42%	4.59%			○	1	
		名称	1	0.39	19.95%	13.07%			○	1	
	(3)	2	1.49	70.64%	4.59%		○		2		
	(4)	2	1.54	76.83%	0.00%	○			2		
	(5)	2	1.31	63.30%	1.61%		○		2		
3	(6)	4	2.10	30.50%	5.96%			○	2		
	ア	2	1.68	81.65%	2.06%		○		1		
	イ	2	1.06	47.48%	10.09%		○		1		
	ウ	2	1.80	85.09%	4.13%		○		1		
	エ	2	1.48	72.02%	2.29%		○		2		
	(1)	2	1.18	59.17%	0.00%	○			1		
	(2)	2	1.54	71.79%	6.19%		○		1		
	(3)	内容	2	1.25	47.48%	7.11%			○	1	
		理由	2	0.64	14.45%	10.32%			○	1	課題①
	(4)	a	2	0.15	7.57%	0.23%	○			2	
		b	4	2.58	27.98%	2.75%			○	2	課題②
(5)	2	1.59	79.59%	0.00%	○			2			
(6)	2	1.17	58.26%	0.00%	○			3			
(7)	2	0.80	39.91%	0.00%	○			3			
4	(1)	2	1.88	93.35%	0.23%	○			3		
	(2)	3	2.05	58.26%	6.19%			○	3		
	(3)	2	1.66	81.42%	0.92%		○		3		
	(4)	2	0.71	35.55%	0.00%	○			2		
	(5)	3	1.36	17.89%	1.38%			○	3	課題③	
	(6)	記号	2	1.46	72.02%	0.92%	○			3	
		理由	2	1.28	60.55%	2.52%			○	3	
(7)	4	3.09	47.48%	3.67%			○	3			
5	(1)	2	1.42	66.51%	5.96%		○		3		
	(2)	2	0.65	30.28%	6.65%		○		3		
	(3)	署名	2	1.01	49.31%	2.29%		○		3	
		請求	2	0.31	13.76%	5.05%		○		3	
	(4)	a	2	1.55	77.47%	0.00%		○		3	
		b	2	0.81	32.80%	6.42%			○	3	
		c	2	0.99	40.60%	5.50%			○	3	
	(5)	a	2	1.24	61.93%	0.46%	○			3	
		b	2	1.47	73.39%	0.46%	○			3	
	(6)	2	1.17	58.03%	0.69%	○			3		
(7)	ア	2	0.69	31.65%	8.26%		○		3		
	イ	2	1.10	51.61%	6.42%		○		3		
合計			56.89								

※20%未満に網掛け ※15%超過に網掛け

記述問題の総配点
35点

2 全体概要

良好

○歴史的事象について基本的事項を理解している。

大問3 ア ウ

大問3 (5)

○社会的事象を考察する際に、適切に資料を読み取ることができる。

大問4 (1)資料

大問5 (4) a

課題

●歴史的事象について、資料をもとに考察し、適切に説明することに課題がある。

大問3 (3)理由

●江戸時代後半の歴史について、外国船の接近と幕府等の対応との因果関係の理解に課題がある。

大問3 (4) a

●社会的事象の背景について、資料を踏まえ指定語句を用いて適切に説明することに課題がある。

大問4 (5)

3 問題の概要

大問1	世界の地理	・地球上の大陸の位置を把握した上で、気候や農業、エネルギーなどの資料から各地域の特色を読み取る力を求めている。
大問2	日本の地理	・地形図を的確に読み取るとともに、資料から日本の産業の特色を捉え、表現する力を求めている。
大問3	日本および世界の歴史	・土地制度や農業の変化などに関して複数の資料から多面的・多角的に考察する力を求めている。
大問4	地理・歴史・公民の総合	・現代社会の特色を労働やグローバル化など今日的な視点から考察し、複数の資料を関連づけて適切に表現する力を求めている。
大問5	公民	・社会参画に関して、経済・政治・国際社会などの視点から考察し、判断する力を求めている。

4 誤答分析と今後の指導のポイント

【課題①】歴史的事象について、資料をもとに考察し、適切に説明することに課題がある。

大問3(3)理由 正答率 14.45% 無答率 10.32%

(3) 下線の部分③について、花子さんがこの時代の御家人の生活について調べたところ、先生が資料1, 2を示してくれた。13世紀は資料1のような領地の相続の方法が一般的であったが、14世紀前半には資料2のような相続の方法が見られるようになった。なぜこのような変化が起きたのか、変化の内容とその理由を書け。

資料1

亡くなった夫から相続した土地を次のように相続させる。
…豊後国(大分県)大野郡の荘園の志賀村の半分は、子どもAが相続し、残りの半分は、子どもBが相続する。
豊後国大野郡の荘園の上村の半分は、子どもCが相続し、残りの半分は、子どもDが相続する。… (1240年)

(志賀文書より作成)

資料2

…領地は、すべて跡取りの子に譲ることとする。…今後は、子孫の一人に相続させること。… (1330年)

(山内首藤家文書より作成)

【解答例】一人あたりの土地が小さくなり、御家人の生活が苦しくなったから。

〈誤答分析〉

- ・「土地が小さくなる」ことまでは書けているが、その結果や影響についての記述がない。
- ・口分田や墾田永年私財法といった用語だけの記述がある。時代ごとの土地制度の変遷が理解できていない。

[SASAで指摘された課題]

- ・SASA2017 7(2) 資料から、歴史上の制度が各地域の経済力をおさえつけることにつながったと説明すること。 20.6%

〈今後の指導のポイント〉

- ・土地制度を通して時代を大観するために、表にまとめて考察し、発表する。
(参考 SASA2018 指導例 報告書 p88)
- ・資料から情報を読み取り、読み取った情報をどのように解釈するかをペアになって説明し合う。

【課題②】江戸時代後半の歴史について、外国船の接近と幕府等の対応との因果関係の理解に課題がある。

大問3(4)a 正答率 7.57% 無答率 0.23%

(4) 下線の部分④の出来事と農業について、a, bの問いに答えよ。

a 次のア～エは、江戸時代に外国船が接近した時期から幕末における日本の出来事である。年代の古いものから順に記号で書け。

- | | |
|---|--------------------------|
| ア 蘭学者が処罰される蛮社の獄 <small>ばんしや ごく</small> がおこった。 | イ 東インド艦隊司令長官ペリーが浦賀に来航した。 |
| ウ 長州藩が関門海峡を通る外国船を砲撃した。 | エ ロシア使節ラクスマンが根室に来航した。 |

【解答例】エ→ア→イ→ウ

〈誤答分析〉

- ・成績上位層（得点率8割以上）でも正答率は、21.6%しかない。
- ・上位層不正解者の中で、ロシア使節ラクスマンの根室来航を最も古いと判断できたのは45.0%、長州藩による外国船砲撃事件を最も新しいと判断できたのは40.0%である。欧米諸国のアジアへの進出など複雑な国際情勢とわが国の開国までの流れについての理解が不十分である。

〈今後の指導のポイント〉

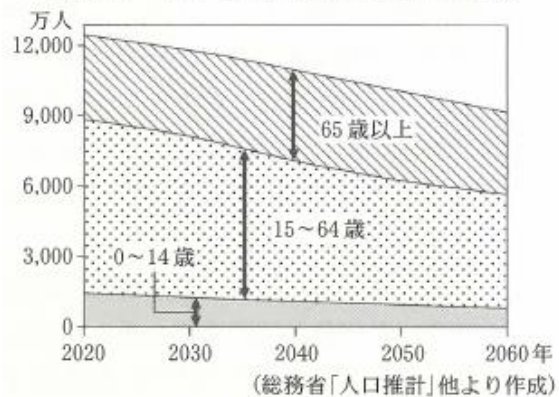
- ・単元を振り返る際に、日本と外国との関係に留意して時代の流れをまとめる活動を取り入れる。
(参考 SASA2014 指導例 報告書 p117)
- ・わが国の近代の特色に関して、18世紀ごろからの世界各国の動きとの関連を踏まえながら整理し発表する。

【課題③】 社会的事象の背景について、資料を踏まえ指定語句を用いて適切に説明することに課題がある。

大問4(5) 正答率 17.89% 無答率 1.38%

(5) 会話文中の空欄(A)に入る内容を、資料3をふまえて書け。なお、「労働力」という語句を必ず使用すること。

資料3 日本の将来人口の動き(推計)



太郎 前回の授業で、①労働について学習したけど、最近、働き方を変えるという話をよく聞くよね。なぜ働き方を変えないといけないのかな。

次郎 私は少子高齢化によって(A)ことが、さらに進むからだと思う。だから、⑤女性や高齢者、外国人などの雇用が注目されているのかな。

【解答例】 おもな労働力となる 15～64 歳の人口が減少する

〈誤答分析〉

- ・「労働力の減少」については理解しているが、資料の内容を踏まえ正確に記述することができていない。
- ・対象となる年齢層に触れずに、「若者が減少する」と記述している誤答が多い。

〈今後の指導のポイント〉

- ・資料から時代の特色や背景などを考え、文章化する。

(参考 SASA2017 指導例 報告書 p96)

- ・時代のターニングポイントとなる出来事を学習する際に、時代を大観しながらその出来事の前後に於ける社会の変化について考察し、その社会的意義を説明する。

理科

1 H31年度入学者選抜(調査人数 436人)

大問	小問	配点	平均点	正答率	無答率	出題方式			履修学年	課題	
						選択	短答	記述			
1	(1)	2	1.30	64.22%	0.69%		○		3		
	(2)	2	1.61	80.28%	0.00%	○			3		
	(3)	2	1.43	68.81%	2.98%		○		3		
	(4)	あ	2	1.46	72.94%	0.00%	○			3	
		い	2	1.19	58.49%	0.00%	○			3	
(5)	3	0.48	10.32%	2.75%			○	3			
2	(1)	2	0.93	45.41%	1.83%		○		3		
	(2)	3	2.61	82.34%	0.92%			○	1		
	(3)	2	0.38	19.04%	0.00%	○			3	課題①	
	(4)	3	2.27	75.69%	0.00%	○			3		
	(5)	2	1.56	76.61%	0.23%		○		3		
3	(1)	3	1.64	54.36%	0.00%		○		2		
	(2)	3	0.28	0.23%	2.06%			○	1	課題②	
	(3)	3	1.42	47.25%	0.23%	○			3		
	(4)	3	2.24	71.79%	0.69%			○	3		
4	(1)	2	1.46	71.10%	2.06%		○		1		
	(2)	あ	2	1.27	62.61%	0.92%		○		1	
		い	2	1.03	51.38%	0.46%		○		1	
	(3)	X	2	0.92	44.95%	1.83%		○		1	
		Y	2	1.02	49.77%	2.06%		○		1	
(4)	3	0.98	30.05%	3.67%			○	1			
5	(1)	3	1.50	41.28%	2.52%			○	1		
	(2)	3	1.70	50.46%	6.42%			○	3		
	(3)	2	0.71	33.94%	0.92%		○		1		
	(4)	記号	2	1.12	55.73%	0.46%	○			1	
		質量	2	0.48	22.94%	3.90%		○		1	
6	(1)	3	1.49	45.87%	3.44%			○	3		
	(2)	3	2.35	76.38%	2.52%		○		2		
	(3)	2	1.37	68.35%	0.23%	○			3		
	(4)	3	1.42	47.02%	0.46%	○			3		
	(5)	2	0.55	25.00%	8.72%			○	3		
7	(1)	2	0.26	12.84%	0.00%	○			1	課題③	
	(2)	2	1.54	75.00%	2.29%		○		3		
	(3)	3	0.74	18.58%	11.47%			○	3		
	(4)	3	1.68	55.96%	0.00%	○			3		
	(5)	3	1.07	35.55%	0.00%	○			3		
8	(1)	3	1.51	50.23%	0.00%	○			2		
	(2)	3	2.47	80.73%	0.46%		○		2		
	(3)	3	0.71	11.47%	5.96%			○	2		
	(4)	3	0.73	24.31%	0.00%	○			2		
合計			50.08								

※20%未満に網掛け ※15%超過に網掛け

記述問題の総配点
32点

2 全体概要

良好

- 生物による生殖方法の違いについて正しく理解している。 大問 1 (2)
- 植物の葉のつき方の利点を正しく理解し、表現することができる。 大問 2 (2)
- 重要なキーワードを正しく理解している。 大問 2 (5)
- 電流・電圧・抵抗・電流が磁場から受ける力・発熱量の関係を正しく理解し、計算ができる。 大問 8 (2) 大問 6 (2)

課題

- 消費者・分解者や、食物連鎖・食物網の違いについて正しく理解することに課題がある。 大問 2 (3)
- 火山灰層が年代を知る手がかりとなる理由を正しく理解し、表現することに課題がある。 大問 3 (2)
- 物体にはたらく力について、種類・向き・作用点について正しく理解することに課題がある。 大問 7 (1)

3 問題の概要

大問 1	生命の連続性	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の成長と生殖 ・細胞分裂と生殖について正しく理解し、有性生殖の利点について考察する力を求めている。
大問 2	地球と私たちの未来のために	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中の生物 ・持続可能な社会を作るために ・生物同士のつながりや関係性を正しく理解し、応用する力を求めている
大問 3	大地の変化 地球と宇宙	<ul style="list-style-type: none"> ・地層から読み取る大地の変化 ・月と惑星の見え方 ・与えられた観測データを正しく読み取り、惑星の位置を推定する力を求めている。
大問 4	大地の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・動き続ける大地 ・地震の伝わり方を正しく理解し、到達時刻を計算により推定する力を求めている。
大問 5	化学変化と原子・分子	<ul style="list-style-type: none"> ・化学変化と物質の質量 ・水溶液の性質 ・化学変化や水溶液の性質の違いを正しく理解し、実験結果から物質を特定する力を求めている。
大問 6	化学変化と原子・分子 化学変化とイオン	<ul style="list-style-type: none"> ・化学変化と電池 ・電池と電気分解について正しく理解し、応用する力を求めている。
大問 7	運動とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーと仕事 ・力学的エネルギーの保存について正しく理解し、速度や経過時間について考察する力を求めている。
大問 8	電気の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・電流と磁界 ・電流、電圧、抵抗の値と電流が受ける力の大小関係について正しく理解し、応用する力を求めている。

4 誤答分析と今後の指導のポイント

【課題①】消費者・分解者や、食物連鎖・食物網の違いについて正しく理解することに課題がある。

大問2(3) 正答率 19.0% 無答率 0%

2 生態系について、あとの問いに答えよ。

(3) 生態系に関する説明文について、適当でないものはどれか。次のア～オから1つ選んで、その記号を書け。

- ア 生産者である植物は、自らがつくり出した有機物を用いて生命活動のエネルギーを得ている。
- イ 有機物を無機物にまで分解する菌類や細菌類などの微生物は、消費者でもある。
- ウ 自然界の生物全体では「食べる」「食べられる」の関係は複雑にからみ合っており、これを食物連鎖という。
- エ 生物が行う光合成や呼吸により、炭素は有機物や無機物に形を変えて生態系を循環している。
- オ 人間の活動によって日本から海外に運ばれ、現地で外来生物(外来種)となっている生物がいる。

【解答例】

ウ

〈誤答分析〉

- ・この問いは5つの文の中から誤っているものを選択する問題である。
- 「イ 有機物を無機物にまで分解する菌類や細菌類などの微生物は、消費者でもある」を選択する誤答が全体の4割を占めた。
- 消費者でもあり、分解者でもあることが理解できていない。生物は生産者・消費者・分解者のいずれかにしか該当しないと誤って理解している。
- 正解の「ウ」は食物網の説明文を食物連鎖と述べていることから、食物網と食物連鎖の違いを理解していない。

[SASAで指摘された課題]

SASA2016 基礎的・基本的な知識を、身近な場面で活用すること。

〈今後の指導のポイント〉

- ・基本用語の正確な意味、関連する他の用語との関係、さらに他の生物とのつながりと関連させて、理解する。その一例として、生産者・消費者・分解者の用語の定義を正しく理解し、「分解者は消費者であり分解者でもある」ことについて、モデル図を使って説明する場面を設定する。
- ・科学的根拠に基づいて説明ができていないかどうかについて評価し、表現力を高めることの手立てとする。(参考 SASA2016 指導例 報告書 p.159)

【課題②】火山灰層が年代を知る手がかりとなる理由を正しく理解し、表現することに課題がある。

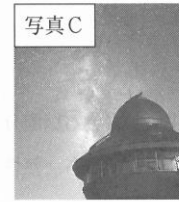
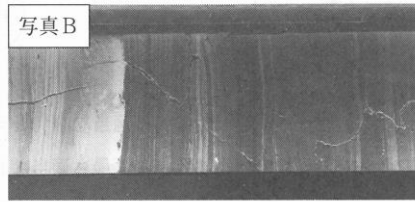
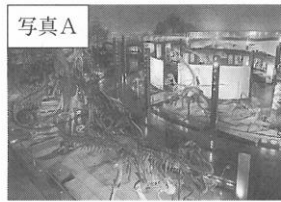
大問3(2) 正答率0.2% 得点率9.3% 無答率2.1%

3 次の会話文は、あるクラスの生徒が福井県の見どころについて、意見を述べたものである。これを読んで、あとの問いに答えよ。

「福井県といたら、やっぱり恐竜だよ。勝山では恐竜の化石が発掘され、写真Aのように博物館で展示されているんだ。」

「地球の歴史のことなら、三方五湖の水月湖の年縞も注目されているよ。年縞というのは、1年に1層ずつ規則正しくできる、写真Bのような、うすい地層の集まりで、水月湖の年縞は地層の年代を決める世界的な基準になっているよ。」

「夜に天体観測はどうか。大野市の山間部では、街明かりが少なく星がよく観察できるし、写真Cのように天体望遠鏡がある施設では、観察会もよく行われているんだ。表は2018年の惑星の見える時期を表しているよ。」



(2) 写真Bの年縞には火山灰層がみられる。火山灰層はかぎ層とよばれ、堆積した年代を知る手がかりとなるが、それはなぜか。その理由を簡潔に書け。

【解答例】

火山灰は広い範囲に、ほぼ同時に降り積もり、噴火ごとに性質が異なるから。

〈誤答分析〉

- 火山灰層の特徴として、①広範囲に分布すること、②同時に堆積すること、③噴火により性質が異なること、の3点を含んだ解答が求められるため、完璧な解答を作ることは難しかった。「(火山の噴火は限られた時に起こり風に運ばれやすいので、)火山灰は短期間で広範囲にわたって降り積もるため」などのように、①②については述べているが、③について言及されていない解答が多い。

→火山灰の特徴は様々であり、どの火山の噴火であるかを特定しやすいことを説明に加えた解答はほとんど見られず、年代測定のために必要な条件が掴みきれしていない。

- 問いとしては、火山灰層が年代を特定するのに有効である理由を説明するように求めているが、「その層は火山が噴火した年代だということがわかるから」

「火山の噴火は限られた時にしかないから」

などの誤答が多く見られた。

→火山の噴火時期を調べることで地層の年代を特定することができるという点を答えており、出題の意図を読み取れていない。

〈今後の指導のポイント〉

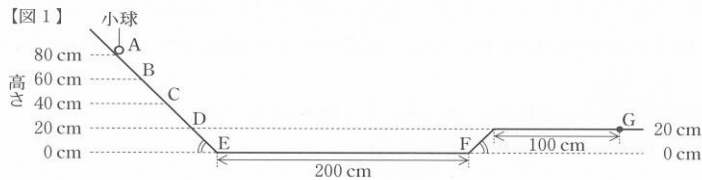
- 「火山灰層の特徴」と「かぎ層となる条件」を関連させながら、ペアになって説明する場面を設定する。「火山灰の成分の違い」から「火山灰層からわかること」へと、教科書記載内容のつながりに留意して説明する。

- 生徒との対話を通して「問題文の意図を正しく読み取れているか」「何を説明することが求められているのか」を確認しながら、授業を展開する。

【課題③】物体にはたらく力について、種類・向き・作用点について正しく理解することに課題がある。

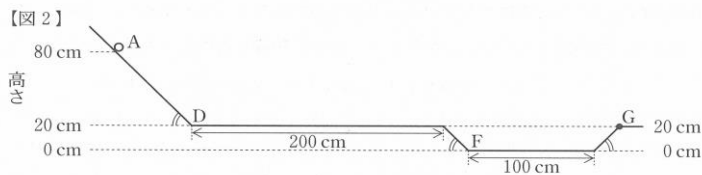
大問7 (1) 正答率 12.8% 無答率 0%

7 図1, 図2のような2つのコースをつくり, 下の実験1, 実験2を行った。なお, 2つのコースの水平面に対する斜面の傾きはすべて同じである。また, 小球はコース面から離れることなく, なめらかに運動し, 小球にはたらく摩擦や空気の抵抗は無視できるものとして, あとの問いに答えよ。

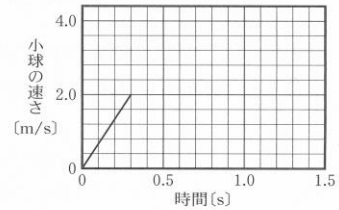


【表】

小球を置いた点	A	B	C	D
小球を置いた高さ (cm)	80	60	40	20
小球の速さ (m/s)	4.0	3.5		2.0



【図3】



【実験1】 図1のコースを用いて小球の速さについて調べた。

操作 A に小球を置き, 静かに手を離れたあとの水平面 EF 上における小球の運動のようすをストロボスコープを使って撮影した。同様の操作を B~D についても行った。

結果1 撮影した写真から水平面 EF 上の小球の速さをそれぞれ求めたところ, A, B, D は, 表のような結果となった。

結果2 図3のグラフは, A で手を離れたあとの小球の運動について, 時間と小球の速さの関係の一部を表している。なお, グラフの横軸は小球が動き出してから時間 (s) を, 縦軸は小球の速さ (m/s) をそれぞれ示す。

問(1) 小球が斜面を下っているとき, 小球にはたらく力を表した図はどれか。最も適当なものを次のア~エから1つ選んで, 記号を書け。



【解答例】

ウ

〈誤答分析〉

- ・誤答としては「エ」が約5割、「ア」が約3割を占め、ほとんどの受験生が「ア」「エ」を答えている。「ア」「エ」は垂直抗力が描かれておらず、物体の中心からしか力が描かれていない。→面が押す力の理解が不十分である。特に、斜面を滑っているときの垂直抗力に対する理解が不十分である。
- 作用点が接点である近接力について十分に理解できていない。
- 重力の分解を学校で多く練習することが考えられ、実際にはたらいっている力と分力の区別ができていない。

[SASA で指摘された課題]

SASA2018 自然界の事象を、法則や規則性に基づいて図示したり、モデル化したりすること。

〈今後の指導のポイント〉

- ・力の種類と特性を正確に理解した上で、どの物体からどの物体に対して力が働いているのかを、生徒が説明し合う場面を設定する。その際に、力の及ぼし手と受け手を明確にする。
- ・実際にはたらいっている力と、それを分解した力（分力）に留意しながら、分解と合成に関する力を作図する。

